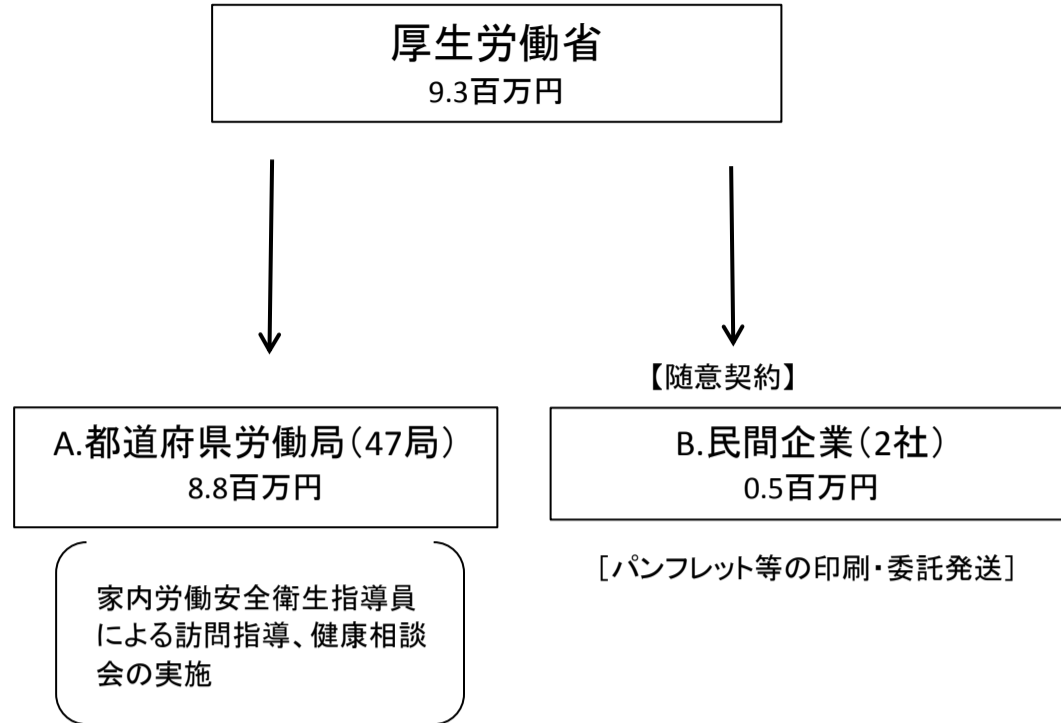


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	家内労働安全衛生管理費	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和49年・未定	担当課室	短時間・在宅労働課	短時間・在宅労働課長 吉永 和生			
会計区分	労働保険特別会計労災勘定	施策名	Ⅱ-2-2労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・家内労働法第25条 ・労働災害補償保険法第29条第1項第3号	関係する計画、通知等	家内労働安全衛生指導員規程(平成13年1月6日 厚生労働省訓第45号) 家内労働者の安全衛生対策事業の実施について(平成20年3月21日付け雇児発第0321005号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家内労働者の安全の確保及び健康の保持</li> <li>・危険有害業務に従事する家内労働者の職業性疾病の早期発見及び予防</li> </ul>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家内労働者又は委託者を対象に、都道府県労働局において委嘱された家内労働安全衛生指導員が、家内労働者の安全の確保及び健康の保持に関する事項について必要な指導を行う。</li> <li>・危険有害業務等に従事する家内労働者を対象に、職業性疾病の早期発見及び予防に資するため、都道府県労働局が産業医等による健康相談を実施する。</li> </ul>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	25	24	24	21	18
		補正予算					
		繰越し等					
		計	25	24	24	21	
		執行額	15	13	9		
	執行率(%)	60.0%	54.2%	37.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	安全衛生指導員による個別指導において、要改善事項があった者(委託者・家内労働者)について、指導の結果、改善の意向ありと回答した者の割合 H20,21 80%以上 H22,23 85%以上	成果実績	%	91.50%	90.50%	92.10%	85%以上
		達成度	%	114.38%	113.13%	108.35%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・H20 家内労働安全衛生指導員による指導対象となる家内労働者・委託者数 ・H21,22,23 家内労働安全衛生指導員による訪問指導を行う家内労働者・委託者数	活動実績 (当初見込み)	人	3,668人	1,209人	1,167人 (1,100人)	— (1,000人)
単位当たりコスト	訪問指導を行う家内労働者・委託者数1人当たり 20,203(円/人)	算出根拠	平成22年度における単位当たりコスト=X/Y X…予算額 23,577千円 Y…活動実績 1,167人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	8	8				
	職員旅費	1	1				
	委員等旅費	3	2	家内労働安全衛生指導員数の減			
	通信運搬費	6	4	自主点検票郵送料の減			
	印刷製本費	2	2				
	賃金等	1	1				
	計	21	18				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については会計法上認められている少額の随意契約である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>家内労働者の安全の確保・健康保持に必要な事業である。  家内労働安全衛生指導員の活動実績及び健康相談会の開催実績に関する都道府県労働局からの報告により、事業実施内容等について把握しているところであるが、事業内容や効率的な実施方法については、検討を行い、必要な見直しを図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>執行状況を予算要求に反映  (家内労働安全衛生管理費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の要因等を精査し、予算を縮減すべき)</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>執行実績を踏まえた旅費等に係る経費の見直しによる縮減(反映額:▲3百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※ 金額は平成22年度実績



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方 で実情が分かるように記載）	A.都道府県労働局			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	諸謝金	家内労働安全衛生指導員活動謝金	5.4			
	庁費	健康相談会実施経費等	1.8			
	委員等旅費	家内労働安全衛生指導員活動旅費	1.5			
	職員旅費	調査旅費	0.1			
	計		8.8	計		0.0

### 支出先上位10者リスト

#### A.都道府県労働局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	都道府県労働局	・家内労働者の安全の確保及び健康の保持 ・危険有害業務等に従事する家内労働者の職業性疾病の早期発見 及び予防	8.8	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

#### B.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	御幸印刷(株)	パンフレット等の印刷	0.4	随意契約	
2	(株)内山回漕店	パンフレット等の発送	0.1	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					